

水産生物を育てる技術

名前 解答

解答

問1 養殖とは何か。

海、湖沼などの一部や水田、陸上の施設などを使って、魚類、貝類、海藻類などの水産生物を人為的に繁殖させること

問2 とる漁業と育てる漁業(養殖)のうち増加傾向にあるのはどちらか。

(育てる漁業)

問3 日本の漁業可能な水域面積は、世界何位か。

(6位)

問4 養殖は、どのような場所や形態で行われるか。

(海面いけす、海面いかだ、陸上水槽、ためいけ、水田)

問5 エサとして柑橘類などの果皮をまぜたものを用いて養殖された魚は、何と呼ばれるか。

(フルーツ魚)

問6 養殖の対象となる魚は、どのような基準で選定されるか。

需要があり、出荷価格が安定するか、成長が早いか、病気などに強いのか、エサが安価で安定的に供給できるか、生産地の環境に合うか、地域の生態系など環境に影響を与えないかなどの視点で検討される

問7 人工ふ化した稚魚を親魚まで育て、その親魚から採卵し、人工ふ化させて次の世代の稚魚を生み出す養殖を何というか。

(完全養殖)

問8 完全養殖が確立されていない魚の養殖を何というか。

(不完全養殖)

問9 不完全養殖の場合、種苗はどうするか。

(天然産の稚魚を用いる)

問10 水産生物を養殖するために必要な技術は何か。

(水産生物の成長に適する環境を調節する技術、成長を管理する技術)

問11 天然の水産資源を守るために、どのようなことが行われているか。

稚魚を放流し、成長した後で回収する増殖。藻場の造成。魚礁の設置。魚道の設置。禁漁期、禁漁区の設定や漁獲体長制限などの漁業の制限。

